

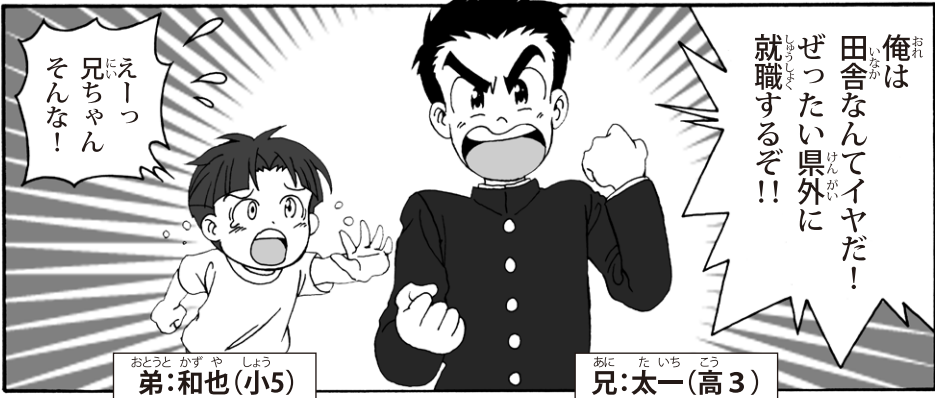
はっけん
発見!

「環光のまち因幡」

しゃ だん ほう じん とつ とり せい ねん かい ぎ しょ へん
社団法人 鳥取青年会議所：編 まんが／ラ・コミック／千田康世

よく、鳥取は「何もないとこ」と言われます。そう思い込んでいる人もいません。しかし、
本当は多くの可能性に満ちています。そして、その実現は、若い力に託されているのです。

※因幡とは、鳥取県東部一市四町（鳥取市・岩美町・智頭町・八頭町・若桜町）からなる地域です。





かんこう いなほ
『環光のまち因幡』
すいしんうんどう
推進運動

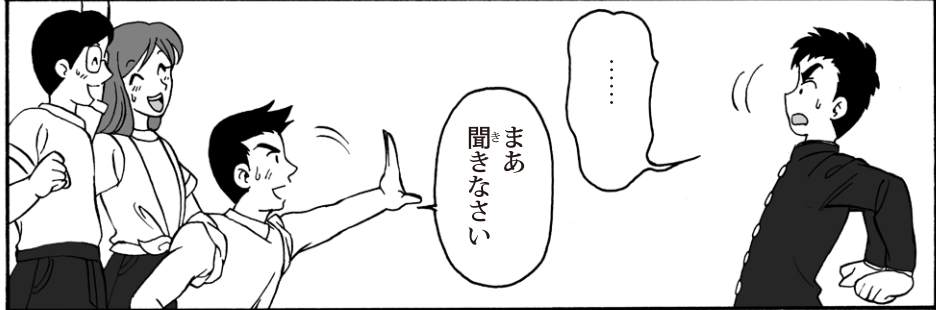
3つの政策

【新生鳥取砂丘政策】！

【究極の田舎政策】！

【因幡のグリーン政策】！

今から僕らが
それぞれの政策を
紹介しよう！



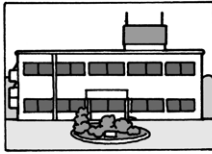
いなば

せい さく

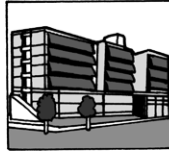
因幡のグリーン政策

因幡には「環境」分野の大学や研究機関があつて他の地域にはない貴重な人材や知識があるのよ

これらを活用してさまざまな「環境」への取り組みを行うの



財団法人
日本きのこセンター
菌茸研究所



鳥取環境大学
...など



環境

経済

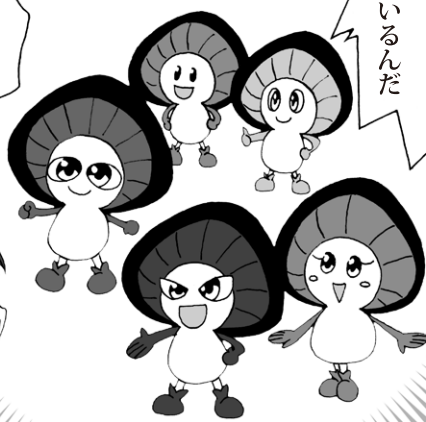


そしてたくさんの人たちと一緒に大きな環を広げながらこの因幡の「経済」発展に繋げていく...

鳥取JCSしいたけの森プロジェクト しいたけ地球環境防衛隊



わっ!?



僕たちしいたけは森を守っているんだ

かわいい! しいたけの妖精かな?

一例として「鳥取JCSしいたけの森プロジェクト」を紹介するわ!



※山は人が入らないと
ドンドン荒れていく

適度に木を伐採し
山の日当たりを
良くすることで
若返っていくのよ

里山

策行
政実

その伐採した
クヌギやコナラを
原木にして
しいたけを栽培すれば
里山も育っていった

木々がしつかり
根を張り
保水力も抜群
海もキレイになる

原木

木

海

さらに
自然環境の
保全にもなる

※里山…人里に接した山などの地形において、人間の影響を受けた生態系が存在している環境。

その通り！

しいたけなんて
全国どこでも
あるでしょ？
それとも因幡のは
特別なの？

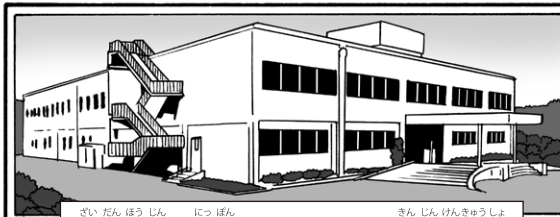
ちよっと
待つてよ！

経済活動

そしてできた
しいたけは
地域産業として
しつかり販売！

者ぞす
者ぞす

げんぼく
原木しいたけを
かく
各地へセールス



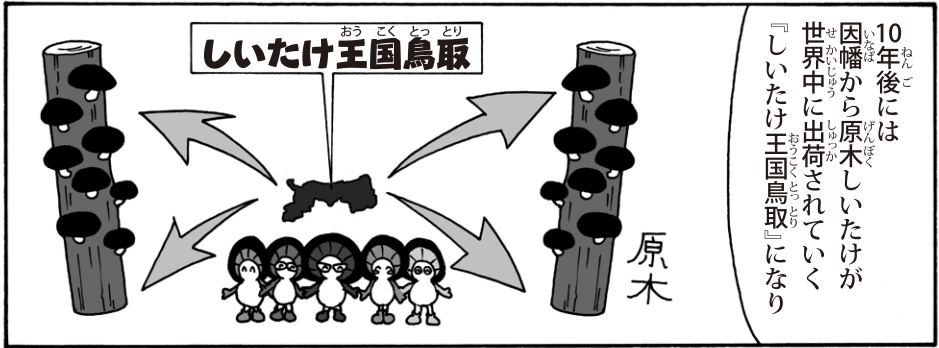
財団法人 日本きのこセンター菌茸研究所

因幡には菌茸研究所という日本唯一のキノコ専門研究所があるの！

ここでよりレベルの高いキノコ栽培の研究も行われているのよ



知らなかったよ！



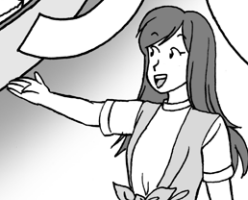
10年後には因幡から原木しいたけが世界中に出荷されていく『しいたけ王国鳥取』になり



50年後にはこの美しい森が「環境」資源として注目されたくさんの方がやってきてこの因幡の「経済」発展へ繋がっていくことを目指しているのよ



ああこんな環境なら僕も住みたいなあ



きゆう きよく いなか せい さく

「究極の田舎」政策

「次の政策は僕が話そう」

因幡の豊かな自然はとても大きな価値があるんだ

この美しい自然環境を活かした因幡オリジナルの商品や田舎環境そのものの良さ体験する楽しさを見つけて出してみんなで広めていくんだよ



※「JUTAN」…他地域に出た方がこの因幡に戻ってきたり、また新たに作り住んだりすること。

「この因幡オリジナルはここにしかない貴重なものなんだ」ってたくさんの人に広め

いろいろな人がその魅力を求めて集まってくる

因幡オリジナル

そしてこの「田舎」の魅力で集まってきた人々が地域の「経済」へ結び付いていく…

これが「究極の田舎政策」

あの人にも教えよう

なんだ

知り

ほう!

くだい

行って

みさう

かいて

送って

たい

住み

おもしろ

3リー

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

なだ

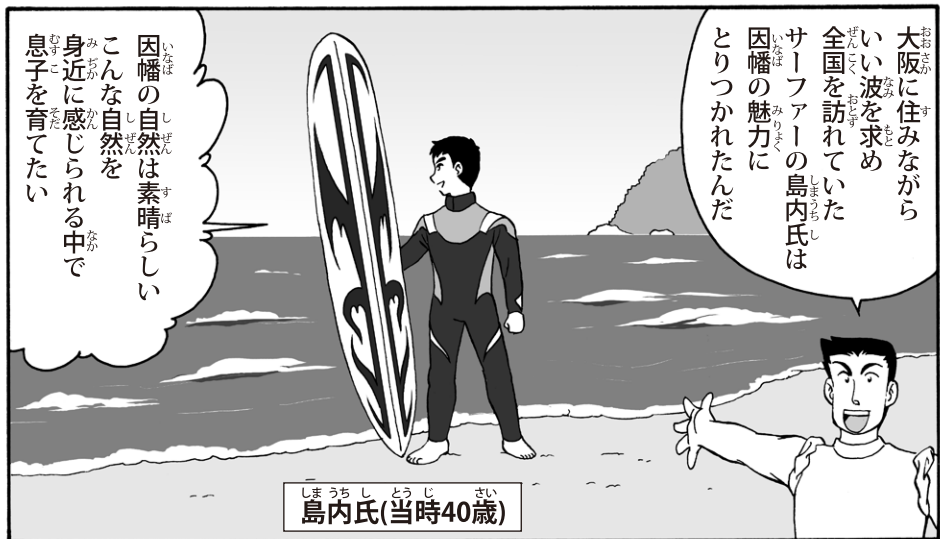


「一つの例を紹介しよう」



「何も無いのに…」

「こんな田舎にわざわざやってこようなんて信じられない」



大阪に住みながら
いい波を求め
全国を訪れていた
サーファーの島内氏は
因幡の魅力に
とりつかれたんだ

因幡の自然は素晴らしい
こんな自然を
身近に感じられる中で
息子を育てたい

島内氏(当時40歳)



【Q】
因幡での田舎暮らしは
いかがですか？

知り合いもいない
地域の行事もわからない
そんなスタートでしたが
お店に来ていただいたり
いろんなことを
教えてもらったり
因幡の皆さんが
とても優しくかったので
少しずつ仲良くなれました



奥様も
島内さんの熱意に
心を動かされ
移住を決断
家族で因幡へ移住し
海辺にカフェを
オープンしました



今は本当に
ゆつくりとした
時間と空間の中
家族で夢を
共有しています

都会のような店は
たくさんないけど
生活には困らないし
ムダ使いもしません
それに何よりも美しい
自然環境があります

因幡にずっと
住んでいる人にとつては
この豊かな自然の魅力は
気付かれにくいこと
なのかもしれません

でも私は
この美しい自然環境の
中での暮らしは
これから先きつと重要に
なってくると思うんです



田舎暮らしの
方が
素晴らしい
なんて…

わからん

きつと
太一君にも
わかるるときが
来るよ



10年後

もともとこの地域に住んでいた人々
新しく移り住んできた人々
そして都会に住みながらも
静かにこのまちで余暇を過ごす人々
因幡の美しい田舎環境のなか
たくさんの人々が
幸せそうに暮らしている

「田舎」と「経済」が好循環するまち因幡

人と人の交流が
ますます活発になって
経済の発展へと
繋がっていく……
そんなまちを
目指しているんだ

新生鳥取砂丘政策

【新生鳥取砂丘政策】については僕が話そう



鳥取砂丘は日本唯一の自然環境だ

これまでは「観光」の視点で活用

していたがこれからは新たな視点で見つめ

環境保全や環境研究などと組み合わせ

発信していくんだ

※協働：様々な人や団体が一緒に助け合い補い合いながら、同じ目的へむけてそれぞれ役割を果たしていくイメージ。

観光だけじゃなくて研究などのためにくり返し訪れることができる新しい環境…

「環光地」として今まで以上にたくさんの人々に賑わうようにするんだ

今回は「日産産」

研究

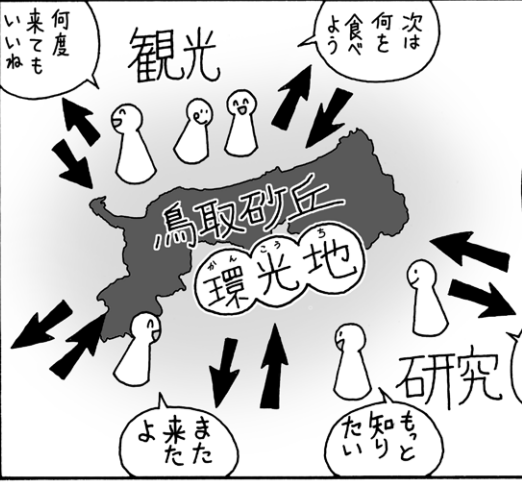
もっと知りたい

また来たよ

観光

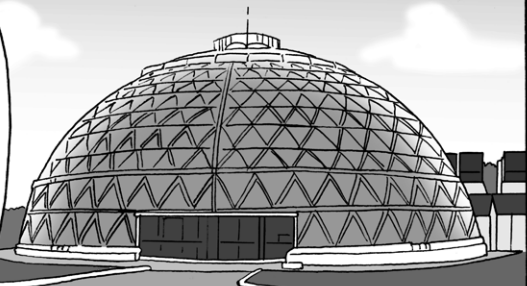
次は何を食うべ

何度来てもいいね



また世界的な機関である「鳥取大学乾燥地研究センター」と協働し

この因幡が世界の乾燥地研究の中心地であることを活用ししっかりと発信していくんだこの取り組みが【新生鳥取砂丘政策】なんだよ



鳥取大学乾燥地研究センター



わかりやすく
説明しよう

因幡の
観光のイメージは
どう？

普通に砂丘に行くのも
楽しいけど
やっぱり僕は
鳥取砂丘
イリユージョンかな



これは鳥取砂丘に
たくさんの人々が
心惹かれて
証拠だと思わない？



世界砂像フェスティバルも
良かったよ！

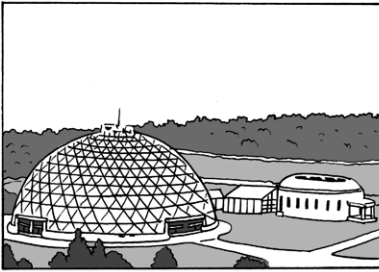
どっちも
たくさん人がきて
大盛況だったよね



あ！
そうかも！

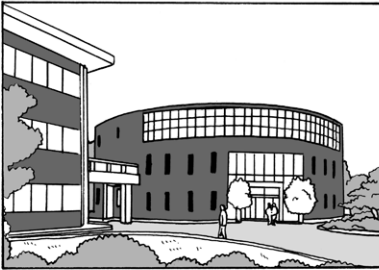
この鳥取砂丘は
見て美しい
だけではなく
世界中から
注目を集める研究地
でもあるんだ！

かんそうちけんきゆう ないおもせつび
乾燥地研究センター内 主な設備



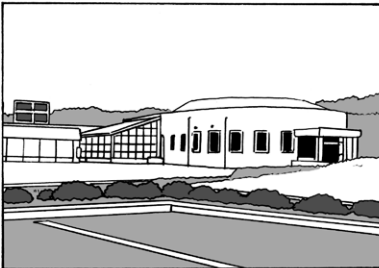
アリドドーム

ドーム型のガラス温室で、乾燥地の環境を再現できる設備を持ち、様々な条件下で実験できる設備。



インターナショナル・アリド・ラボ

(2010年10月竣工) 温室実験、分析機械類がある。



学術標本展示室

乾燥地に関する模型や映像等の資料が豊富にあり砂漠緑化などについて学べます。

そんな
 すごい施設が
 鳥取に
 あったんだ！

乾燥地研究センターは世界の乾燥地研究の中心地として、今も世界各国から研究者が訪れているんだよ

でもこれはあくまで一つの例だ
 10年後 鳥取砂丘は観光と環境研究の先進地として輝く
 …それが目標なんだ



ここでの研究は世界の砂漠化防止にも貢献しているんだよ

鳥取砂丘って
 すごいね！

まとめ

いなば せい さく
因幡のグリーン政策

きゅうきょく いなか せい さく
究極の田舎政策

しん せい とつ とり さきゅうせい さく
新生鳥取砂丘政策

僕らは
 このように
 3つの切り口で
 因幡を盛り上げて
 いくんだ！



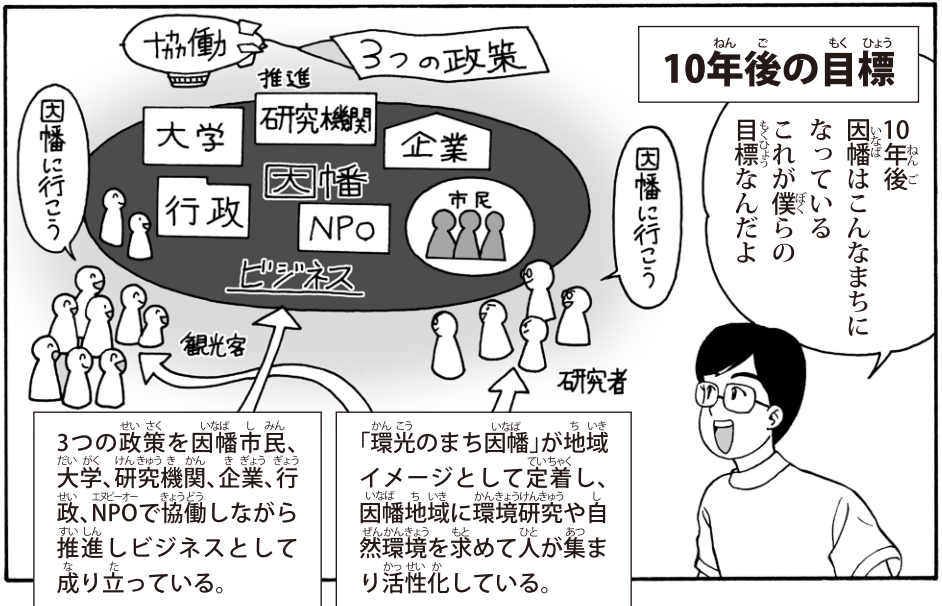
視点 その1:「人と人の環」

そしてこのビジョンは
 2つの視点をもつて
 実施していくんだよ

ひとつは
 この因幡地域で
 活躍している
 たくさんのリーダー達と
 一緒に活動し
 新しいリーダーを
 発掘することなんだ



視点 その2:「未来への光」

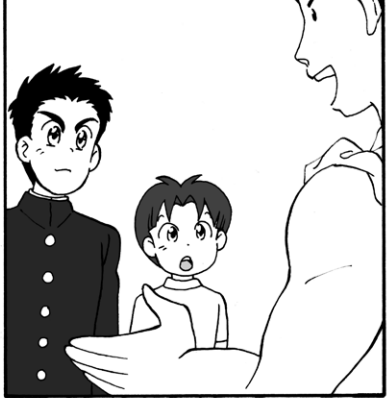
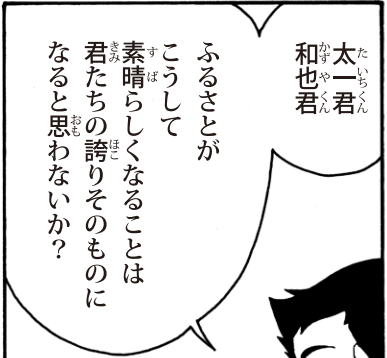


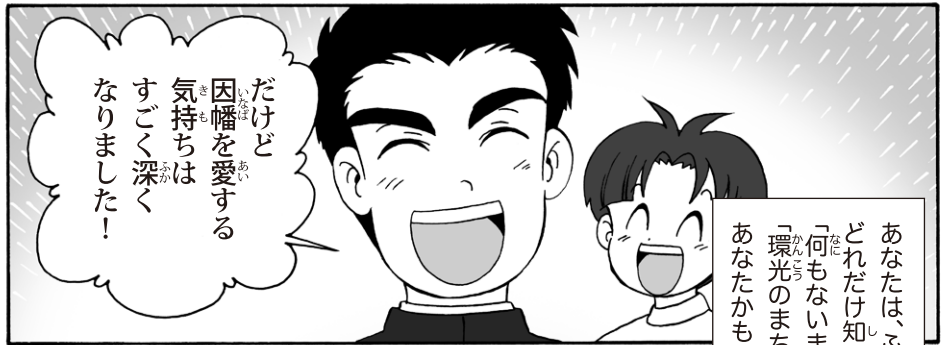
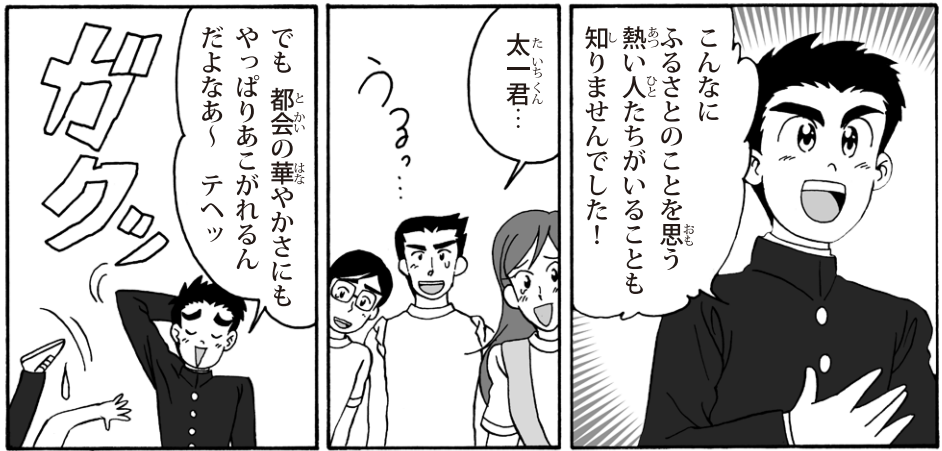
因幡は世界から必要とされるまちとなり、私たち因幡市民が地域に誇りと自信をもって暮らしている。

因幡が環境分野のシリコンバレー（最先端地域）となって、世界中から企業や研究者が集まっている。

50年後の夢

そして50年後はこうなるように頑張りたい





かん こう いなば
「環光のまち因幡」
 すいしん うんどう
 推進運動 ロゴマーク

- 緑の五枚の葉は、因幡（鳥取県東部地域）の一市四町をあらわす。
- 真ん中の光の輪は「人と人の環」「未来への光」をあらわす。
- 3つの種はそれぞれ3つの政策をあらわす。
- 茎の部分で「J」C」の文字。
- 「環光」とは「環境」と「経済」が好循環していく意味の造語。

発見！「環光のまち因幡」おしまい。